

I 平成30年度当初予算の主な施策

1 子ども・子育て世代への支援の充実

- 千葉の未来を担う子どもを安心して生み育てられる社会を構築するため、保育基盤の一層の整備を図ります。

まず、保育士の確保・定着対策については、平成29年度に創設した給与改善のための補助制度について、民間保育所のある全市町村で実施できるよう予算を増額するほか、処遇改善につながるキャリアアップ研修の対象人数を大幅に拡大します。

また、保育所等の整備については、これまでの県単独の補助に加えて、利便性の高い駅周辺などの、賃貸物件を活用した整備に対する補助制度を創設します。

- 産前・産後から乳幼児期の子育てに関する相談や情報提供などを切れ目なく行う「子育て世代包括支援センター」の市町村への設置を支援するほか、予期しない妊娠などにより、不安や悩みを抱える女性への相談事業を新たに実施します。

- 児童生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境づくりを進めるため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員するとともに、専門家等がチームを組んで支援に当たる「不登校対策支援チーム」を設置します。

また、特別支援学校の児童生徒数の増加による過密状況に対応するため、既設校への増築に加え、新たに柏特別支援学校の高等部分離に伴う学校新設に着手します。

- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、私立学校経常費補助について、国の標準単価の引き上げに加え、県単独の補助単価を高校21,500円、幼稚園7,100円とし、それぞれ前年度から1,000円ずつ引き上げます。

<主な事業>

・千葉県保育士処遇改善事業	1,260,000千円（別冊 6頁）
・保育士等キャリアアップ研修事業	86,200千円（別冊 7頁）
・賃貸による保育所・小規模保育事業所緊急整備事業【新規】	300,000千円（別冊 8頁）
・子育て世代包括支援センター設置支援事業【新規】	10,000千円（別冊 9頁）
・妊娠SOS相談事業【新規】	4,000千円（別冊 10頁）
・学校におけるいじめ・不登校等対策の推進【一部新規】	852,041千円（別冊 11頁）
・特別支援学校整備事業【一部新規】	365,900千円（別冊 12頁）
・私立学校経常費補助（一般補助）	34,550,309千円（別冊 13頁）

2 医療・福祉の充実

- 障害児・者の自立と社会参加に向け、先進的な医療サービスと福祉サービスを提供している「千葉リハビリテーションセンター」について、施設の老朽化に対処し、より県民ニーズに対応した施設とするため、建替えに向けた調査・検討を行います。
- 地域医療を支える医師・看護師を確保するため、平成29年度に実施した修学資金の貸付枠拡大に応じ、予算を増額します。
- 県民の誰もが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、病院から在宅医療への移行を支援する在宅医療連携拠点の設置・運営費用に対して助成を行うとともに、訪問看護サービスの提供体制整備が十分に進んでいない地域において、病院等に訪問看護ステーションを併設する事業者に対し、立上げ時に必要な初期費用を助成します。
また、訪問歯科診療を支える歯科衛生士を確保するため、歯科衛生士の不足する地域に就職する学生に対し、就職準備金の貸付を行います。
- 本県のがん医療の中核を担うがんセンターについて、平成31年度の新棟竣工に向けて建設工事を進めます。また、社会福祉活動や災害ボランティア活動の拠点となる千葉県社会福祉センターの再整備に向けた基本設計を実施します。
- 子どもの貧困対策と教育機会の均等を図るため、生活困窮世帯の小中学生等を対象に学びの場を提供する学習相談等支援事業を全17町村に拡大します。
また、不足している介護人材を確保するため、高校生等を対象として介護職の魅力伝える取組や、シニア人材や外国人の就業促進に向けた支援を行います。

<主な事業>

・千葉リハビリテーションセンター再整備事業【新規】	18,500千円（別冊 14頁）
・医師修学資金貸付事業	573,350千円（別冊 15頁）
・保健師等修学資金貸付事業	356,600千円（別冊 15頁）
・地域在宅医療体制構築支援事業【新規】	42,000千円（別冊 16頁）
・訪問看護ステーション整備促進事業【新規】	31,000千円（別冊 17頁）
・在宅歯科・口腔保健推進事業【一部新規】	69,743千円（別冊 18頁）
・がんセンター施設整備事業	2,473,517千円（別冊 19頁）
・千葉県社会福祉センター整備事業	44,600千円（別冊 20頁）
・生活困窮者等自立支援事業	33,582千円（別冊 21頁）
・介護人材確保対策事業【一部新規】	217,500千円（別冊 22頁）

3 くらしの安全・安心の確立

- 詳細な津波情報を沿岸市町村に配信し、住民や観光客等の安全・迅速な避難行動を支援するため、「千葉県津波浸水予測システム」を新たに整備します。
- 地域防災力の更なる向上を図るため、消防学校・防災研修センターについて、平成31年度の全面供用に向けて建設工事を進めます。
また、災害時の応急活動等で重要な役割を果たす緊急輸送道路が建物の倒壊により通行できなくなることを防ぐため、沿道の建築物の耐震診断費用に対する補助制度を創設します。
- 県民生活の安全を支える警察施設について、館山警察署の建替えに着手するほか、警察署等の耐震化については4施設の改修工事、3施設の設計を行います。
また、老朽化した交番・駐在所についても予算を増額し、建替えや改修を進めます。
- 子どもの見守り活動など地域防犯力の強化に加え、東京オリンピック・パラリンピック開催時の運用を見据え、移動交番車を5台増車して全県60台体制に拡充します。また、防犯ボックスについても設置個所を増加します。
このほか、市町村や自治会等による防犯カメラ設置への助成について、市町村からの要望の増加に対応し、予算を増額します。
- 性犯罪・性暴力被害者の方々に対し、民間団体と連携して実施する相談やカウンセリングについて、夜間休日の電話対応を実施できるよう、体制を拡充します。

<主な事業>

・千葉県津波浸水予測システム整備事業【新規】	20,510千円（別冊 23頁）
・消防学校・防災研修センター整備事業	6,077,871千円（別冊 24頁）
・緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断事業【新規】	17,000千円（別冊 25頁）
・警察署等耐震改修整備事業	1,263,192千円（別冊 26頁）
・館山警察署庁舎整備事業【新規】	49,002千円（別冊 27頁）
・交番・駐在所整備事業	326,199千円（別冊 28頁）
・移動交番車配備事業	76,636千円（別冊 29頁）
・防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業	106,487千円（別冊 30頁）
・市町村防犯カメラ等設置事業補助	70,000千円（別冊 31頁）
・性犯罪・性暴力被害者支援事業	25,693千円（別冊 32頁）

4 商工業の振興・雇用

- 中小企業の積極的な設備投資等を支援するため、中小企業振興資金について平成30年度も過去最大の融資枠5,700億円を継続します。
- 本県への企業誘致を推進するための立地企業補助金について、本県に進出する企業数の増加などに対応し、予算を増額します。
- 中小企業の人材確保を支援するため、中小企業団体と大学・高等学校等の相互交流や、中学校・高等学校における職場体験のための情報提供を行います。
また、中小企業の事業承継問題に取り組むプロジェクトマネージャーを配置し、中小企業の技術やノウハウを次世代に引き継いでいくための支援を実施します。
- 本県の地域資源を活用した独創的な事業展開を促進するため、「クラウドファンディング」により新事業を行う中小企業者への助成制度について、補助上限額の引き上げを行います。
- 女性の一層の活躍を推進するため、子育て等により離職した女性を対象とした再就職支援を強化するほか、多様で柔軟な働き方の推進など「働き方改革」を進めるためのアドバイザー派遣や企業向けセミナー、地域相談会を実施します。

<主な事業>

・中小企業振興資金	190,000,000千円（別冊 33頁）
・立地企業補助金	720,000千円（別冊 34頁）
・中小企業人材採用サポート事業	20,000千円（別冊 35頁）
・学校教育と連携した中小企業・小規模企業魅力発信事業【新規】	4,586千円（別冊 36頁）
・事業承継プロジェクトマネージャー等配置事業【新規】	9,591千円（別冊 37頁）
・「千葉ふるさと投資」活用支援事業	3,700千円（別冊 38頁）
・輝く女性応援事業	14,000千円（別冊 39頁）
・「働き方改革」推進事業	17,000千円（別冊 40頁）

5 農林水産業の振興と社会基盤づくり

(1) 農林水産業の振興

- 担い手への農地集積を進め、経営の大規模化による生産性の向上を図るため、農地中間管理機構の体制を強化します。
- 米価の安定や飼料用米の需要増に対応するため、主食用米からの転作を新たに行う農業者のための補助単価を拡充するほか、畜産飼料としての流通・利用拡大を図る取組に対し助成を行います。
- 酪農家の労働環境を改善し、担い手の確保を図るため、酪農ヘルパーの利用費用を助成するとともに、省力化のための機械の導入費用に対して新たに助成を行います。
- 園芸産地の生産性向上のための施設・設備整備に対する助成について、要望の増加に応じて予算を増額するほか、ICTを活用して施設内の生育環境を最適化するための設備導入に対して新たに助成を行います。
- イノシシ等の有害鳥獣による農業被害・生活被害を防止するため、市町村等が実施する捕獲事業への助成について、要望の増加に合わせた予算額の増額に加え、補助単価についても引き上げを行います。また、新たに、イノシシの棲み家となる耕作放棄地等に生い茂る草木を伐採する取組に対し支援を行います。
- 水産業の振興を図るため、漁港施設整備について、銚子漁港の次期整備計画の開始等に伴い、大幅に予算を増額します。また、漁業者の収益向上や輸出拡大を図るため、銚子漁港内に設置される加工施設の整備に対し助成を行います。

<主な事業>

・農地集積加速化促進事業	460,000千円（別冊 41頁）
・飼料用米等拡大支援事業	348,000千円（別冊 42頁）
・飼料用イネ利活用推進事業【新規】	3,000千円（別冊 43頁）
・ちばの酪農ワークスタイル変革推進事業【一部新規】	20,000千円（別冊 44頁）
・「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業【一部新規】	350,000千円（別冊 45頁）
・野生鳥獣総合対策事業【一部新規】	438,659千円（別冊 46頁）
・イノシシ等有害獣被害防止対策事業【一部新規】	330,000千円（別冊 47頁）
・県産水産物加工・流通・輸出拠点施設整備事業	154,854千円（別冊 48頁）
・漁港建設事業	5,159,497千円（別冊 49頁）

(2) 社会基盤づくり

- 県民生活の利便性向上や県内経済の活性化につなげるため、多様な交流・連携を支える道路ネットワーク整備について、予算を大幅に増額します。

平成30年度は、道路ネットワークの基幹となる圏央道大栄～横芝間の事業進捗を強化するとともに、銚子連絡道路と長生グリーンラインの事業中区間の整備推進と、これに続く新たな区間の事業化に向けた関連調査に着手します。

北千葉道路については、成田市区間の橋りょう工事を進めるとともに、市川市～船橋市区間については、環境アセスメント・都市計画変更の手続きを進め、早期事業化を目指します。

また、基幹となる道路整備の進捗にあわせ、その効果を県内に波及させるためのアクセス道路や、市町村からの要望が多い地域に密着した道路についても整備を強力に推進し、平成32年度までに52箇所の供用開始を目指すとともに、新たに30箇所について事業着手します。

- 交通安全対策のための歩道や信号機、道路環境の維持・向上のための舗装道路修繕や環境美化対策について予算を増額し、整備を推進します。
- 鉄道駅を、高齢者や障害者をはじめ、誰もが安全で快適に利用できるよう、エレベーターやホームドアの設置に対する補助について、予算を増額し、整備を促進します。
- 昨年11月に新たに策定した「県有建物長寿命化計画」に基づき、庁舎・県立学校・警察施設等の県有建物について、建替えや大規模改修、計画保全等に本格的に取り組めます。

また、道路・橋りょう、河川、港湾、公園などの基盤施設についても、従来の「事後的な修繕」から「予防的な修繕」に転換し、施設の長寿命化を図ります。

<主な事業>

・道路ネットワーク事業	57,680,830千円 (別冊 50頁)
・道路維持管理事業	9,257,000千円 (別冊 51頁)
・交通安全施設整備事業	8,665,160千円 (別冊 52頁)
・鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助	95,979千円 (別冊 53頁)
・県有建物長寿命化対策事業	15,718,882千円 (別冊 54頁)
・公共土木施設等長寿命化対策事業	6,064,907千円 (別冊 55頁)

6 千葉の魅力発信

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、ボランティアの育成、大会の機運醸成に向けた情報発信などの取組をオール千葉体制で推進します。
また、競技会場となる幕張メッセについて、老朽化への対応や、大会後も見据えた施設の機能強化を図るために大規模改修を実施するほか、サーフィン会場となる一宮町釣ヶ崎海岸地区の自然公園施設の整備を行います。
- 千葉県を訪れる方々が、「また千葉に行きたい」と心から思えるよう、オール千葉で「おもてなし」の機運を醸成するとともに、本県ならではの食のおもてなし力を向上させるため、農林水産物直売所や飲食店等と連携した取組を行います。
また、観光地の利便性と魅力の向上を図るため、トイレ・案内所等の整備に対し助成を行うほか、県立施設のトイレについても改修工事を行います。
- 4回目となる「ちばアクアラインマラソン」を本年10月21日に開催するとともに、マラソンの開催にあわせ、参加者や来場者に対して本県の農林水産物をはじめとするさまざまな魅力をPRします。

<主な事業>

- ・東京2020への機運醸成に向けた情報発信事業【新規】 30,000千円（別冊 56頁）
- ・東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの確保・育成【一部新規】 19,329千円（別冊 57頁）
- ・幕張メッセ大規模改修事業 1,236,410千円（別冊 58頁）
- ・県立九十九里自然公園整備事業 91,700千円（別冊 59頁）
- ・オール千葉おもてなし推進事業・食のおもてなし力向上事業 21,000千円（別冊 60頁）
- ・観光地魅力アップ整備事業 280,000千円（別冊 61頁）
- ・県立施設トイレ改修事業 255,090千円（別冊 62頁）
- ・ちばアクアラインマラソン開催事業 140,000千円（別冊 63頁）
- ・ちばアクアラインマラソン開催に伴うPR事業 30,000千円（別冊 64頁）

7 環境・文化・スポーツ施策の推進

- 県立図書館について、利用者サービスの向上や図書館機能の強化、施設集約による業務効率化などの観点を踏まえ、現在の3館体制から1館に機能集約を図ることとし、新県立図書館の整備に向けた基本計画を策定します。
- 生態系への影響や農林水産業への被害を及ぼすおそれのある特定外来生物について、捕獲数を増加するとともに、生息数が増加しているキョンについては専門的な知識を有するコーディネーターを新たに配置するなど、対策を強化します。
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、大会後もレガシーとして残るよう、アスリートの強化・支援やオリンピック・パラリンピックを活用した教育など、未来を担う人づくりに取り組みます。

特に、障害者スポーツについてはその振興と普及に向け、市町村へのコーディネーターの派遣や、特別支援学校を拠点とする地域交流などに取り組みます。
- 総合スポーツセンター野球場の耐震・大規模改修事業について、平成32年度早期の供用開始に向けて改修工事に着手します。また、障害者スポーツの拠点となる障害者スポーツ・レクリエーションセンターについて、利用者の安全確保と老朽化対策のため、改修工事を実施します。

<主な事業>

・新県立図書館基本計画策定事業【新規】	15,000千円（別冊 65頁）
・外来種特別対策事業【一部新規】	106,662千円（別冊 66頁）
・オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業	37,600千円（別冊 67頁）
・東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業	115,000千円（別冊 68頁）
・特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業【新規】	12,000千円（別冊 69頁）
・障害者スポーツ振興事業【一部新規】	19,000千円（別冊 70頁）
・総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業	381,800千円（別冊 71頁）
・障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業	47,000千円（別冊 72頁）